

(19)日本国特許庁（J P）

(12) **公 開 特 許 公 報** (A)

(11)特許出願公開番号

特開2002－372712

(P2002－372712A)

(43)公開日 平成14年12月26日(2002.12.26)

(51)Int.Cl ⁷	識別記号	F I	テ-マコード [*] (参考)
G 0 2 F 1/13357		G 0 2 F 1/13357	2 H 0 9 1
G 0 9 F 9/00	350	G 0 9 F 9/00	350 Z 5 G 4 3 5
H 0 4 N 5/64	511	H 0 4 N 5/64	511 F

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 3 数)

(21)出願番号 特願2001－181312(P2001－181312)

(22)出願日 平成13年6月15日(2001.6.15)

(71)出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72)発明者 小淵 博正

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(72)発明者 高橋 弘

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器
産業株式会社内

(74)代理人 100097445

弁理士 岩橋 文雄 (外 2 名)

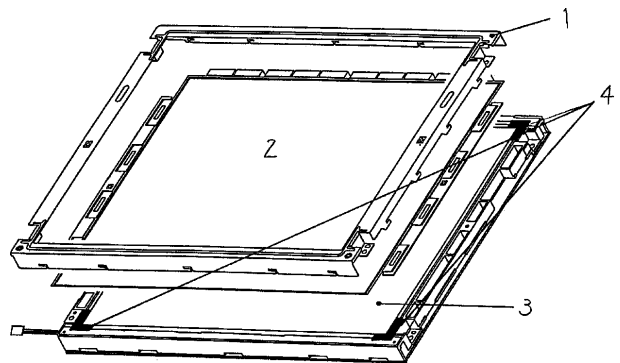
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 液晶表示装置

(57)【要約】

【課題】 液晶表示装置の外部から、液晶パネルとバックライトユニットとの間に異物が進入する。

【解決手段】 液晶パネルを設置保持するバックライトユニットの4コーナー部に粘着性を有する物質を配置する。これにより、外部から侵入する異物を防止でき、実用的に極めて有効である。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 液晶パネルと、バックライトユニットと、を少なくとも含む液晶表示装置であって、前記液晶パネルを設置保持する前記バックライトユニットの4コーナー部に粘着性を有する物質を配置したことを特徴とする液晶表示装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は液晶モニターや液晶テレビ用に用いられる液晶表示装置に関する。

【0002】

【従来の技術】 近年、液晶パネルはモニター、PC、AV用に幅広く普及している。液晶パネルの表示欠陥としては、TFT素子不良などにより起こる点欠陥や、液晶パネル内の配向ムラ等による表示ムラと、液晶パネルとバックライトユニットとの間の異物による欠陥などがあるが、特に、液晶モニター等に使用される大型の液晶表示装置は、外部から異物が比較的侵入しやすいため、異物による表示品位低下が重大課題となっている。

【0003】 以下に従来の液晶表示装置の構造について説明する。従来の液晶表示装置は、第2図に示すような構造からなり、バックライトユニット3、液晶パネル2、および金属フレーム1から構成されている。

【0004】 以上の構造からなる大型の液晶表示装置においては、液晶パネルとバックライトユニットの隙間が生じ、その隙間から異物が侵入しやすくなる。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 前記に示す従来の液晶表示装置の構造上、特に液晶パネルとバックライトユニットの4コーナー部との間に隙間が存在する場合、外部からの異物侵入を防ぐことができない、という課題を有していた。

【0006】 本発明はかかる課題を解決するものであり、液晶表示装置の外部から液晶パネルとバックライトユニットとの間に侵入する異物を正確、かつ、簡単に防止することを目的とするものである。*

*【0007】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するために本発明は、液晶パネルを設置保持するバックライトユニットの4コーナー部に粘着性を有する物質を配置したものである。

【0008】 これにより、液晶表示装置の外部から液晶パネルとバックライトユニットとの間に侵入する異物を、粘着性物質の粘着力を利用して、異物の侵入を防止することができ、液晶表示装置外部からの異物をバックライトユニット面まで侵入しないようにしたものである。

【0009】

【発明の実施の形態】 以下に、本発明の実施の形態について説明する。

【0010】 第1図は異物の侵入を防止する構造を有する本発明の実施の形態の液晶表示装置を示す。

【0011】 液晶パネル2を設置保持するバックライトユニット3の4コーナー部に粘着性を有する物質4を配置する。そして、液晶表示装置の外部から液晶パネルとバックライトユニットの間に侵入する異物を上記の粘着性を有する物質で付着、固定させ侵入防止を図ることができる。

【0012】

【発明の効果】 以上説明したように、本発明によれば、液晶表示装置の外部から侵入する異物を防止でき、実用上極めて有効である。

【図面の簡単な説明】

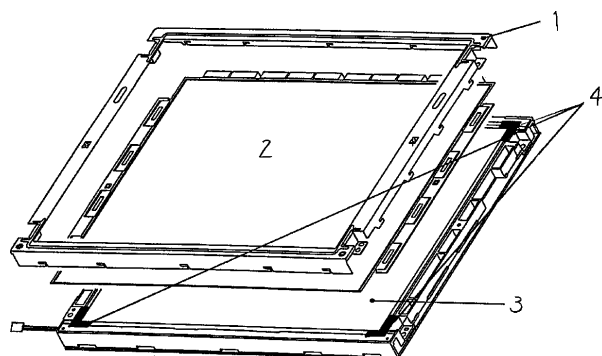
【図1】 本発明の実施形態における液晶表示装置の構成を示す図

【図2】 従来の液晶表示装置の構成を示す図

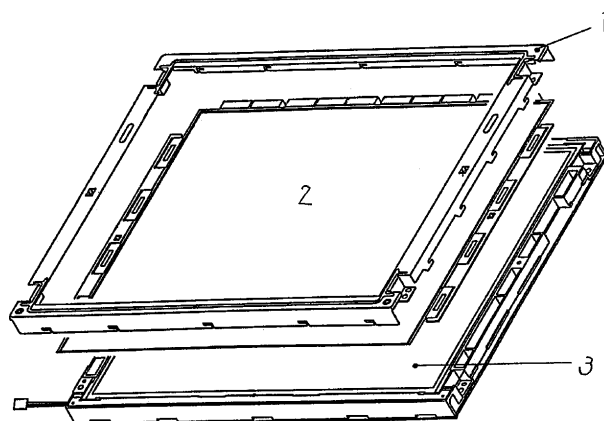
【符号の説明】

- 1 金属フレーム
- 2 液晶パネル
- 3 バックライトユニット
- 4 粘着性を有する物質

【図1】



【図2】



フロントページの続き

Fターム(参考) 2H091 FA41Z FD14 GA13 GA17
LA07
5G435 AA11 AA17 BB12 BB15 EE05
EE09 EE13 EE25 HH18

专利名称(译)	液晶表示装置		
公开(公告)号	JP2002372712A	公开(公告)日	2002-12-26
申请号	JP2001181312	申请日	2001-06-15
申请(专利权)人(译)	松下电器产业有限公司		
[标]发明人	小淵博正 高橋弘		
发明人	小淵 博正 高橋 弘		
IPC分类号	G02F1/13357 G09F9/00 H04N5/64		
FI分类号	G02F1/13357 G09F9/00.350.Z H04N5/64.511.F		
F-TERM分类号	2H091/FA41Z 2H091/FD14 2H091/GA13 2H091/GA17 2H091/LA07 5G435/AA11 5G435/AA17 5G435/BB12 5G435/BB15 5G435/EE05 5G435/EE09 5G435/EE13 5G435/EE25 5G435/HH18 2H191/FA81Z 2H191/FD34 2H191/GA19 2H191/GA23 2H191/LA07 2H391/AA01 2H391/CA02 2H391/CA10		
外部链接	Espacenet		

摘要(译)

异物从液晶显示装置的外部进入液晶面板和背光单元之间。
SOLUTION：在背光单元的四个角上放置了粘合剂，以安装和固定液晶面板。这使得可以防止异物从外部进入，这在实践中极为有效。

